

# 第 1 章 秋田県のすがた

## 第 1 節 地勢・沿革

### 1 地 勢

本県は、首都東京のほぼ真北約450kmの日本海沿岸にあって面積11,637.5km<sup>2</sup>(全国第6位)、13市9町3村に区分されています。

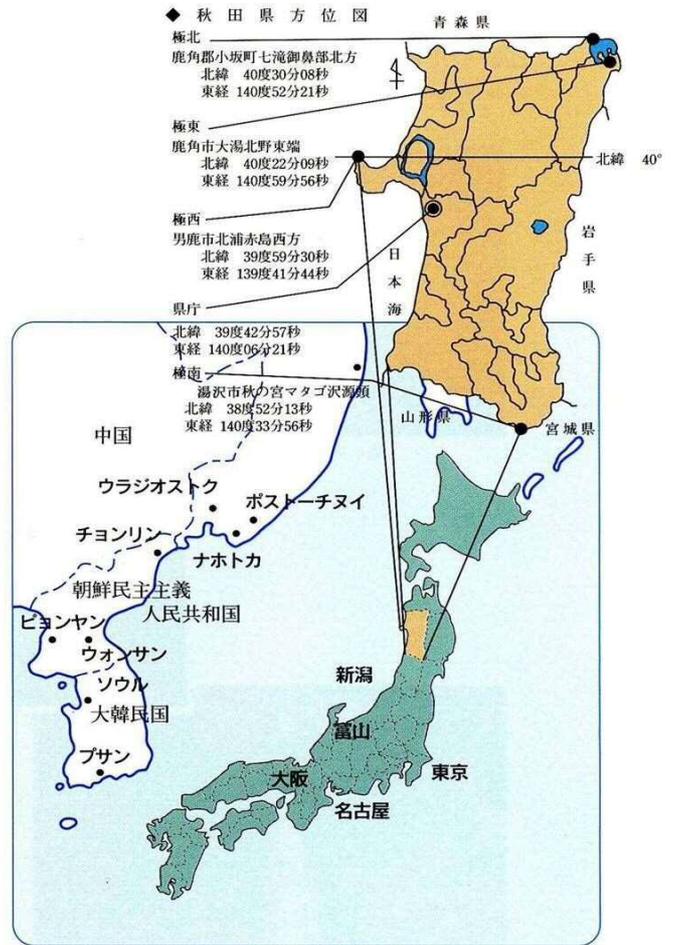
県北には、鷹巣、大館、花輪の諸盆地、県南には横手盆地などがあり、また雄物川、米代川、子吉川などの河川に沿って肥沃な耕地が展開し、その下流には秋田、能代、本荘の各平野が開け、多くの都市が発展しています。

### 2 沿 革

秋田の地名が歴史に現れたのは、斉明4年(西暦658年)、阿部比羅夫が蝦夷を支配下に置いたときと伝えられています。

関ヶ原合戦後の慶長7年(西暦1602年)佐竹義宣が常陸より国替を命ぜられ、秋田6郡20万石の領主となりました。その後、明治維新までの約260年間の間に、鉱山の開発や新田の開拓など、産業経済の礎を築いてきました。

明治4年の廃藩置県により秋田県が誕生して以来、多くの人々が郷土の発展に力を尽くし、今日の秋田が築かれてきました。



年月日	羽 後 国	陸 中 国
明治2年まで	秋 山 河 仙 平 雄 田 本 辺 北 鹿 勝 郡 郡 郡 郡 郡 郡	由 利 郡 鹿 角 郡 ↓ 南 部 領 ↓ 南 部 藩
	久 保 田 領 ↓ 久 保 田 藩	亀 本 矢 仁 田 荘 島 賀 領 領 領 領 ↓ ↓ ↓ ↓ 亀 本 矢 酒 ( 民 田 荘 島 田 政 藩 藩 藩 局 局 藩 )
明治3年2月24日	岩崎藩(雄勝郡東部)立藩	
明治4年1月13日	久保田藩を秋田藩と改称	
明治4年7月14日	秋 田 県	岩 亀 本 矢 酒 江 崎 田 本 荘 島 田 刺 県 県 県 県 県 県
明治4年11月2日	秋 田 県	岩崎県、亀田県、本荘県、矢島県、酒田県の一部(旧仁賀保領)及び江刺県のうちいまの鹿角市、鹿角郡を編入した。
平成18年3月27日	平成16年度～17年度 市町村合併 「9市50町10村」から「13市9町3村」となった(詳細はP4)。	

## 第2節 自然・気象

### 1 自然

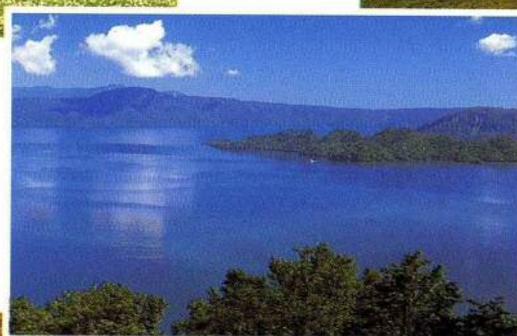
本県は、全国で6番目という広い面積を持ち、春の新緑、夏の空と海の青さ、秋の紅葉、冬の雪色といった色彩感あふれる四季の変化に富んだ自然を誇り、その息吹を身近に感じながら生活することができます。



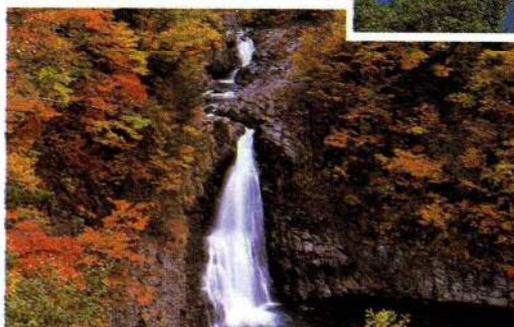
駒ヶ岳とチングルマ



入道崎



十和田湖



法体の滝



樹氷の八幡平

### 2 気候

本県の気候は、概ね出羽山地により海岸部と内陸部の2つに区分されます。海岸部は全般的に馬海流の影響を受けてしのぎやすく、冬期間でも積雪は少なめです。

内陸部は夏には比較的高温となり、冬は寒さが厳しく積雪も多くなります。県の面積のほぼ半分が特別豪雪地帯となっています。

全般に長い冬と短い夏が特徴で、四季の変化がはっきりしています。

	秋田	札幌	仙台	東京
最低気温(°C)	-5.9	-13.1	-3.6	-1.2
最高気温(°C)	36.8	34.2	36.1	36.2
年平均気温(°C)	12.9 ( 11.8)	9.8	13.6	16.5
年間日照時間(h)	1,833.7 (1,526.0)	1,987.7	2,056.0	1,909.0
年降水量(mm)	1,566.5 (1,686.2)	814.0	1,389.5	1,874.0
降水日数(日)	151 ( 172.3)	131	97	111
雪日数(日)	88 ( 85.5)	119	64	6
最深積雪(cm)	17 ( 38 )	72	7	0

※資料：気象庁HP「令和元年気象データ」

※秋田の( )書きは平年値(1981～2010の30年間の平均)

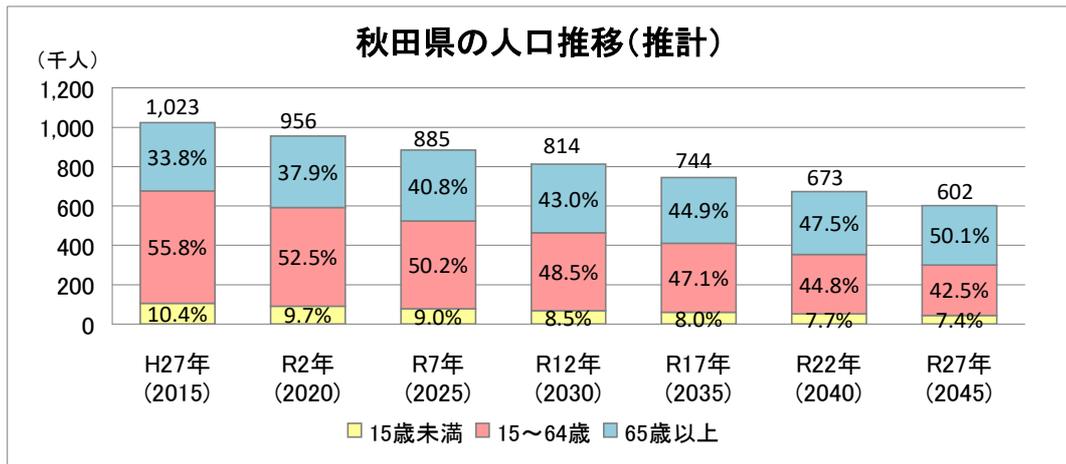
## 第3節 人口・産業構造・面積

### 1 人口

本県の人口は、令和2年4月1日現在で95万6,346人と、平成29年4月に100万人を割り込んで以来、減少傾向が続いています。

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」によると、本県の人口は、令和27(2045)年に60.2万人となり、2015年比の減少率は全国で最大の41.2%と推計しています。

また、本県の65歳以上の人口が占める2045年の高齢化率は全国で最も高い50.1%で、0～14歳の年少人口の割合は全国最低の7.4%と推計され、本県の人口減少と少子高齢化が、今後、一層進むものと予想されています。



※資料：「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

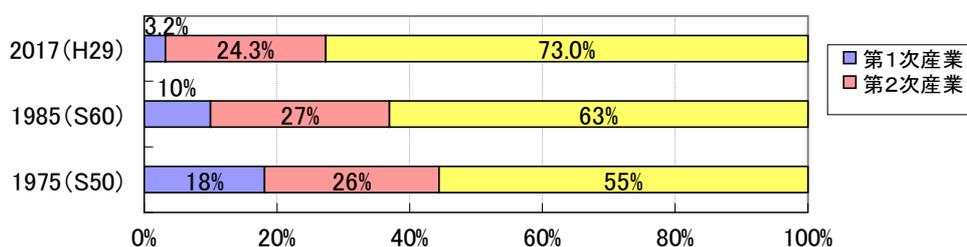
### 2 経済・産業構造

平成29年度の本県の経済規模を示す県内総生産は、名目で3兆5,630億円、物価変動の影響を除いた実質では3兆4,381億円となっています。

県内総生産を経済活動の種類別にみると、平成28年度と比較し、農業、製造業、卸売・小売業などで増加したほか、建設業でもわずかに増加、一方、水産業や製造業、電気・ガス・水道業などで減少し、全体では第1次、第2次、第3次、すべての産業で増加しています。

区分	H28年度	H29年度	対前年度比較		
			金額	率(%)	
秋田県	県内総生産(名目)	34,281(億円)	35,630(億円)	1,349(億円)	3.9
	県内総生産(実質)	33,182(億円)	34,381(億円)	1,199(億円)	3.6
	県民所得	25,723(億円)	26,876(億円)	1,153(億円)	4.5
	1人当たり県民所得	2,547(千円)	2,699(千円)	152(千円)	6.0
全国	国内総生産(名目)	5,367,950(億円)	5,474,085(億円)	106,135(億円)	2.0
	国内総生産(実質)	5,219,789(億円)	5,316,781(億円)	96,992(億円)	1.9
	国民所得	3,911,856(億円)	4,041,977(億円)	130,121(億円)	3.3
	1人当たり国民所得	3,082(千円)	3,190(千円)	108(千円)	3.5

【県内総生産の産業別構成比】



※資料：「平成29年度秋田県県民経済計算」(秋田県)

### 3 面積

本県の総面積は約11,637.5km<sup>2</sup>、全国第6位で、東京都、埼玉県、千葉県を合計を上回ります。

また、比較的大きかった各市町村の面積規模が、市町村合併によりさらに大きくなり、由利本荘市と北秋田市の合計だけで東京都や沖縄県を上回り、神奈川県にほぼ等しい面積になります。

#### ◆秋田県市町村区域図

